

特筆すべき教育・研究・診療・社会貢献活動等への取組と成果，世界的位置付けなど。

(評価年次報告「卓越した教育研究大学へ向けて」で報告する内容)

< 特筆すべき教育活動 >

・ 植物園の八甲田山分園は，八甲田山の山麓に位置し，80年の歴史をもつ高山地域の生態学研究・教育の拠点である．八甲田山分園では，学内外からの学生実習の受け入れと支援を行っているが，高山地域に位置する同種の施設は，全国的にも数カ所しか存在していない．2009年度には，学内から3つの実習，学外の5大学（横浜国立大学，立正大学，東京情報大学，千葉大学，青森大学）から5つの実習を受け入れ，生物学，生態学の教育に貢献した．

< 特筆すべき研究活動 >

・ 総合学術博物館では，新しいインターネット公開技術である「e-Specimen」（3次元デジタル標本データベース）システムのシステム構築及び標本作成作業を行っている．生物・古生物標本には，種の同定のために殻形態等の3次元データや内部構造データなどが必要なものが多い．このような標本のデータベースは，2次元画像のみでは不十分であるが，実用的な3次元デジタル標本データベースはほとんど例がない．総合学術博物館ではマイクロCTによるデジタル標本システムを開発することで，この問題の解決を目指しており，現在有孔虫を題材として，その有効性を検証するための公開実験を行っている．今年度も難解とされる前期旧石器時代の石器の考古学資料を新たに取り上げ，この方法で展示公開している．

< 特筆すべき社会貢献活動等 >

・ 総合学術博物館では，仙台市博物館連携ネットワークSMMA（センダイ、ミヤギ、ミュージアム、アライアンス）に参画し、共通ホームページの立ち上げの協力、クロストークへ参加した。クロストークでは、『仙台メディアテーク＋東北大総合学術博物館のコレクション「蒐集の世界」』と題して12月19日に参加した。

・ 植物園では，5月4日みどりの日が「植物園の日」であることから，植物園主催，仙台植樹の会共催，日本植物園協会後援で「5月4日は植物園の日，ふるさとの植物を守ろう」というイベントを行った．このイベントは5年目を迎え，仙台市発行「せんだいぐらしのガイド」にも掲載されるまで定着している．当日は植物園ガイドツアー，ミニコンサートが行われ，市民が植物園の豊かな自然を楽しんだ．入園者は1216名で，植物園の公開促進，地域教育・文化への貢献，地域住民と一体感のある大学づくりへの貢献につながった．

・ 史料館では，前年度に引き続き，利用者の要望に応えるため，企画展が開催された10・11月の二ヶ月間にわたって土・日・祝日開館を試行した．